

郵便はがき



〒四二六〇〇二五  
藤枝市藤枝四一七  
大慶寺 大場正昭  
FaxTel. 〇五四一六四一一二二九  
〇五四一六四四一六二二六  
ohba@enmyozan.org

## 今年も 東海道音楽祭

主催 藤縁

◆期日 5月3日 (祝 水)

◆時間 10時～20時30分

◆予定

- ・10:00-15:00 クラシックコンサート
- ・10:00-16:00 マーケット
- ・10:00-20:30 寺カフェ
- ・10:00-20:30 フードコート
- ・18:00-20:30 キャンドルナイトコンサート


※詳細お問い合わせ下さい

おしゃかさまの誕生日・花祭り法要  
例年通り今年も「花まつり法要」を営  
み、甘茶をかけてお祝いします。お忙し  
い中ですが是非ご参加下さい。

○期日 4月12日(水)

○時間 午後1時

○場所 大慶寺本堂



ああ、あの看板のお寺ね

最近、「DKGの看板でテレビによく出るね」と言われる。入口参道拡張に合わせ、平成26年を通り沿いに設置した看板である。DKGは時流に合わせた造語で、「大(D)、慶(K)、寺(D)」、「誰(D)でも気軽(K)にご覧(G)あれ」と文字遊びしたもの。

今や、社会構造の変化、価値観の多様化、少子高齢化、世帯数減少で、まさに寺の存在価値が問われる時代。

今から30年ほど前、小学校のPTA役員の時に漠然とした不安を感じた事を思い出す。それは、かなり偏った考えを持つ親がいて、核家族という単位では、それを修正させる力が極めて弱いことを当時感じた。

考えて見れば、核家族化で得たものも多いが、失ったものも多い。家の伝統や文化の継承を途切れさせ、祖父母への労りや感謝の念を忘れさせがちになるなど。また、手を合わせる対象物が無い環境は、目に見えないもの

**天然記念物 久遠の松**

だい	けい	じ
<b>D</b>	<b>K</b>	<b>G</b>
誰でも	気軽に	ご覧あれ

への畏敬の念を失わせてしまった。そこに、自由、個人主義をはき違えた人がいて、結果として核家族の中で、輪切りにした瞬間的な価値観が幅をきかせるケースが出てきた。このままでどうなるかと当時本当に心配になった。

その後、社会では市場原理主義が主流となり、便利さだけは享受できるが、格差を生じさせ、人々を心から安心させることができない現状が残った。そんな状況であるが、最近では望みを持つる様相もある。核家族の次の若い世代の中には、「何か変だぞ」と考えている人が多いのも事実。これは寺で様々なイベントで、若者に接するにつけ感じることである。

家族經由の情報伝達は、祖父母、父母、若い世代へと一昔前までは日常に行われてきた。核家族が進んだ現代は、それが途切れる時代。途切れてるこの若い世代への仏教界からのアプローチこそ、今求められていることだと思う。